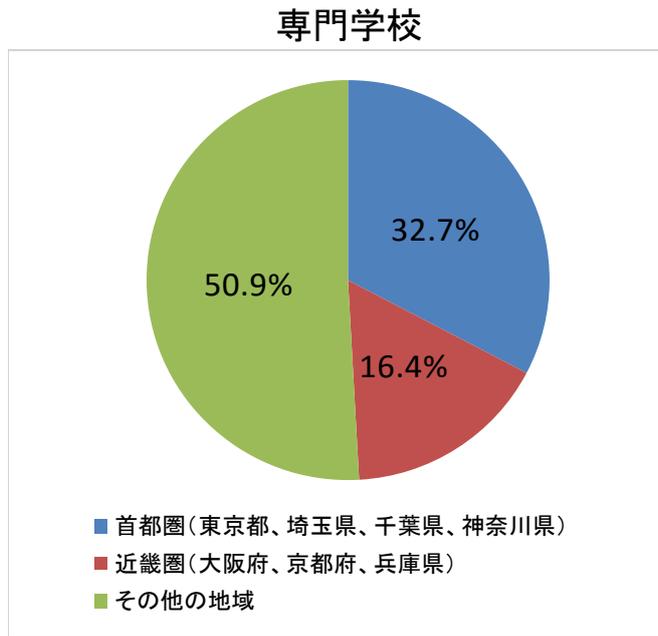
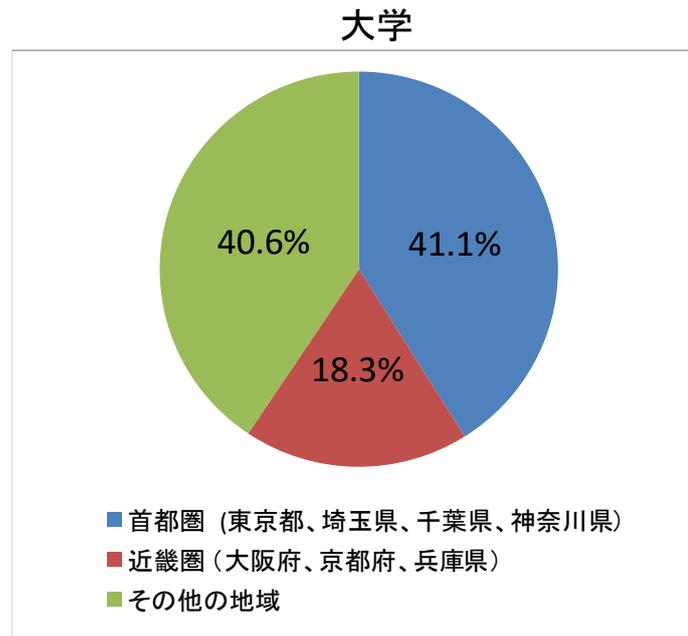


全国の専門学校生・大学生のうち首都圏・近畿圏に在学する者の割合

専門学校は、大学に比較して、なお地方の教育資源としての性格をより強く残している。



n=589,050(人)

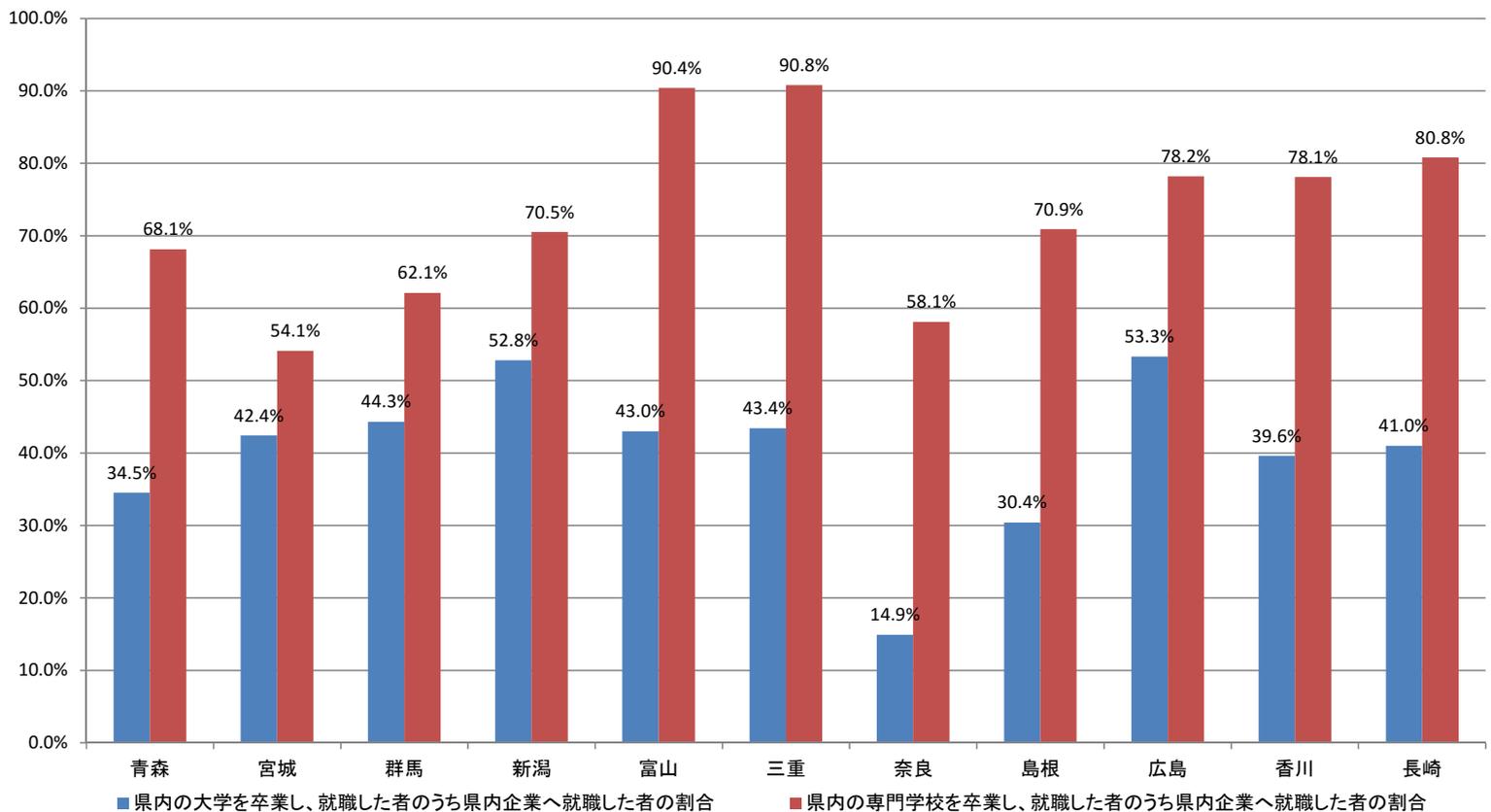


n=2,567,030(人)

出典:平成28年度学校基本統計

専門学校・大学卒業生における地元就職の状況

専門学校の卒業生は、大学と比べて地元就職する割合が高い。



【趣旨・目的】

柔軟な制度的特性を生かしながら産業構造の変化や各地域のニーズ等に対応した実践的な職業教育を行う専修学校の人材養成機能を充実・強化し、地域産業の発展を支える中核的な人材養成機関としての専修学校の役割の充実に図るため、社会人向けの教育プログラムや特色ある教育カリキュラムの開発、効果的な産学連携教育の実施のためのガイドラインの作成、分野に応じた中長期的な人材育成に向けた協議体制の構築等を進める。

教育機関

メニュー1：教育プログラム等の開発

ターゲット①

→社会人の学び直しの推進(学びやすい教育プログラムの開発・実証)
⇒eラーニングの積極的活用等による学び直し講座の開発等
⇒地域版学び直し教育プログラムの開発・実証

ターゲット②

→高等専修学校の教育カリキュラムの特色化
⇒特色ある教育推進のための教育カリキュラム等の開発・実証

メニュー2：産学連携手法の開発

ターゲット③

→産学連携による効果的な職業教育の実践
⇒学習と実践を組み合わせる教育システムの構築(専修学校版デュアル教育の手法開発)

メニュー3：産学連携体制の整備

ターゲット④

→自立的・機動的な産学連携体制の構築
⇒人材育成協議会の設置

産業界

産学官の連携強化による実践的な教育の推進

行政機関

専修学校による地域産業中核的人材養成事業

メニュー1 教育プログラム等の開発

【趣旨】

実践的な職業教育を行う専修学校等の学び直し機能の向上に向け、**学び直し講座の開設促進や、社会人が学びやすい教育プログラムの開発**を行う。また、高等専修学校(専修学校高等課程)等における**特色ある教育を推進するためのカリキュラムの開発**を行う。

(事業の概要)

eラーニングの積極活用等による学び直し講座の開設等

専修学校を活用した社会人の学び直しを積極的に推進するため、専修学校において、eラーニングを積極的に活用したカリキュラム編成による学び直し講座の開設など、社会人の学び直しを推進するための方策について調査研究を実施する。【新規メニュー/委託事業】

地域版学び直し教育プログラムの開発・実証

地域や業界団体・企業等の人材ニーズが高い分野における実践的な知識・技術・技能を修得するため、専修学校等において、地元企業や業界団体等のニーズを踏まえた「オーダーメイド型教育プログラム」の開発・実証等を行う。※「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業の継続メニュー

特色ある教育推進のための教育カリキュラム等の開発・実証

高等専修学校等において、後期中等教育段階から高等教育や就業への継続性のある教育カリキュラムや、特別に配慮が必要な生徒等の特性を踏まえた支援体制・教育手法(教育カリキュラムや就業支援等)の開発・実証を行う。※「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業の継続メニュー

取組実施分野の例

産学官協働による教育プログラムの開発

環境・エネルギー	農業	畜産
介護・看護	保育	医療
ファッション	美容	アニメ・漫画
デザイン	観光	IT
ゲーム・CG	社会基盤	

教育プログラムの開発

産学連携手法の開発

産学官連携体制の整備

メニュー2 産学連携手法の開発

【趣旨】

専修学校において、これからの時代に求められるアクティブ・ラーニングの在り方を見据え、**学習と実践を組み合わせる行う効果的な教育手法を開発**し、学校・産業界双方のガイドラインとして作成・共有化することにより、質保証・向上を図りつつ、実効的・組織的な産学協同による教育体制を構築する。

《学習と実践を組み合わせる行う教育システム（専修学校版デュアル教育）の構築》



産学連携の下で、学習と実践を組み合わせる行う効果的な教育手法を開発・確立し、標準モデルとしてパッケージ化（ガイドライン策定）⇒各専修学校の産学連携教育の質向上

メニュー3 機動的な産学連携体制の整備

【趣旨】

我が国の専修学校群が、自由度の高い制度特性を生かしながら、変化する社会ニーズに的確に応え、その役割を果たしていくことを支援する。

≫≫専修学校と産業界・行政機関等を構成員とする協議会において、**各分野における人材育成の在り方を検討し、各専修学校における教育内容の改編・充実につなげるとともに、持続可能な協議体制の整備を促す。**

（事業の概要）

専修学校、産業界・行政機関等が特定分野の中長期的な人材育成について協議し、各専修学校の教育カリキュラムに反映し、教育内容の改編・充実を実施する。【新規メニュー/委託事業】

全国版人材育成協議会の設置（分野別）※2箇所

地域版人材育成協議会の設置（分野別）※12箇所

※代表機関となる専修学校又は専修学校振興団体に委託し実施。



分野別の人材育成協議会の取組 (PDCA + a)

- P** 最新の産業動向や業界ニーズ把握・共有
- D** ニーズを踏まえた具体的な教育機会の提供
- C** 効果的な教育体制・手法の検証
- A** 時代に応じ適時に教育手法等の改善がなされるプロセスの確立
- a** 組織の自立化に向けた検討 等

教育プログラムの開発

産学連携手法の開発

産学官連携体制の整備

教育プログラムの開発

産学連携手法の開発

産学官連携体制の整備